

平成 30 年 8 月 1 日

全日私幼連  
加盟園 様

全日本私立幼稚園連合会  
経営研究委員長 内野 光裕

## 園運営における危機管理への意識を 改めて高めていただくために

盛夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃、本連合会の諸活動に対しまして、種々ご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。

全国的に猛暑が続き、7月23日には埼玉県熊谷市で日本歴代最高となる41.1℃の暑さが記録され、熱中症による救急搬送の数も全国で増加しております。加盟園の皆様におかれましては、夏季休業中とはいうものの、「預かり保育の実施」や「認定こども園としての2号・3号児の保育」などでお忙しい時間をお過ごしのことと存じます。今回改めて、夏季における保育等に対するの注意点ならびに初期対応、危機対応・管理のあり方についてお伝え致しますので、ご配慮のほどお願い申し上げます。

### 【熱中症】

「熱中症」は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく屋内で何もしていないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。子どもたちの体調の変化に気をつけるとともに、現場の教職員が熱中症を意識して保育を行うことが重要です。

### 【プール活動・水遊び】

プール活動・水遊びを行う場合は、監視体制の空白が生じないように専ら監視を行う者とプール指導等を行う者を分けて配置し、また、その役割分担を明確にしましょう。

事故を未然に防止するため、プール活動に関わる職員に対して、子どものプール活動・水遊びの監視を行う際に見落としがちなリスクや注意すべきポイントについて事前教育を十分に行ってください。園は、教職員に対し、心肺蘇生法を始めとした応急手当等及び119番通報を含めた緊急事態への対応について教育の場を設け、緊急時の体制を整理し共有しておくとともに、緊急時にこれらの知識や技術を活用することができるように日常において実践的な訓練を行ってください。

## 【初期対応、危機対応・管理】

事故が起こってしまった場合、初期対応が大切です。まずは、被害者への対応を迅速に行ってください。謝罪と事故の発生状況の説明を丁寧に行うことが重要です。次に職員対応を行います。保護者対応をする前に、内部の動揺を抑えることを優先して下さい。保護者対応では、現時点で分かっている事の説明および事実の共有を行い、起こってしまった事故に対して誠心誠意対応していく旨を説明して下さい。また、同時進行で再発防止策を作成し、事故の原因を特定し組織内にて二度と同じような事故が起きないように徹底して下さい。

危機対応として、事故の後の対応方法について注意点を上げます。①加害者意識をしっかりと持って下さい。②考える前に迅速に行動し事態の把握・混乱の收拾を行ってください。③設置者・園長がしっかりとリーダーシップを発揮し事態の解決を努めることが大切です。

危機管理として、事故を未然に防ぐために園内で日頃より研修を行い、情報共有を行ってください。研修では、成功方法を学ぶのではなく、失敗・原因から学び、繰り返さないことが重要です。各園におかれましては、普段より園内研修等にて教職員に対して事前教育等を行なっているかと存じますが、事故を未然に防ぐために園内で話し合いの場を持ち、危機管理への意識を改めて高めていただければ幸いです。

以 上